

事務事業評価シート（1/2）

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0001231010 子育て支援課庶務係
事務事業 02395 出産手当支給事務

所属長名 長谷部 朋也
担当者 中川 裕太
電話番号 0566-71-2227

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	005	こども		
項目（施策）	001	17子育て		
施策の方針	002	安心して生み育てられる環境の整備		
事務事業	002	出産手当支給事務		
事業期間	昭和50年度～			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	安城市出産手当条例			
備考				

【事業分析】

対象	
目的	
手段	
事務内容	児童手当申請時に合わせて申請手続きの受付、審査、振込みを実施します。出生者一人につき1万円を支給します。

【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	645	815
事業費	0	330	500
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	0	330	500
人件費計	0	315	315
正規（人）	0.00	0.05	0.05
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		出産手当支給件数 33件	

事務事業評価シート（2/2）

2頁
平成30年 8月20日
11時55分01秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0001231010 子育て支援課庶務係
事務事業 02395 出産手当支給事務

上段：目標値 下段：実績値

【定量評価】

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	2
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市独自に出産時の費用を補完するものです。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	低所得者の出産時における負担を軽減しています。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由			
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	事業内容等に関し、検討を行っています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	実施している近隣自治体は少ないですが、効果的な事業です。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	低所得者の出産に対し支給を行っており、負担軽減に効果的な事業であると考えています。引き続き、転入時や出生に伴う各申請時において支給要件の確認を確実にし、対象者への周知を図ります。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

3頁
平成30年 8月20日
11時55分01秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0001231010 子育て支援課庶務係
事務事業 02396 子ども・子育て支援事業計画推進事業

所属長名 長谷部 朋也
担当者 中川 裕太
電話番号 0566-71-2227

【基本情報】

計画回数	02 第8次安城市総合計画			
5Kの分類	005 こども			
項目（施策）	001 17子育て			
施策の方針	001 17子育てその他			
事務事業	001 子ども・子育て支援事業計画推進事業			
事業期間	平成1年度～			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	義務的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	子ども・子育て支援法、次世代育成支援対策推進法			
備考	平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から以下の事業から名称変更しています。 ・子ども・子育て支援事業			

【事業分析】

対象	子ども・子育て支援事業計画の具体的施策が
目的	計画通りに実施され、その実施状況が市民に周知されます。
手段	安城市子ども・子育て会議を開催し、具体的施策の実施状況について協議し、結果を公表します。
事務内容	実施状況の取りまとめ、会議の開催。会議結果の公表。

【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	2,140	7,439
事業費	0	250	3,659
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	0	250	3,659
人件費計	0	1,890	3,780
正規（人）	0.00	0.30	0.60
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		子ども・子育て会議 2回開催	子ども・子育て会議 4回開催 次期子ども・子育て支 援事業計画策定（ニー ズ調査）

事務事業評価シート（2/2）

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0001231010 子育て支援課庶務係
事務事業 02396 子ども・子育て支援事業計画推進事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
行動計画重点推進項目実施率	%	0.00 0.00	90.00 100.00	95.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	法律に基づき、市が策定する計画です。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	子育てに関する需要は増えています。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	計画に従い、順調に各施策が進捗しています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	会議等の意見を踏まえ、各施策を実施しています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他の自治体においても同様の計画を策定しています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	子どもたちが健やかに育ち、子育てを地域全体で支援する環境を整備するため、今後も積極的に事業を進めていく必要があります。具体的施策が計画どおりに実施されるように着実に進捗管理を行っていきます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

5頁
平成30年 8月20日
11時55分01秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0001231010 子育て支援課庶務係
事務事業 02404 児童遊園等維持管理事務

所属長名 長谷部 朋也
担当者 小野 達也
電話番号 0566-71-2227

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	005	こども		
項目（施策）	001	17子育て		
施策の方針	002	安心して生み育てられる環境の整備		
事務事業	003	児童遊園等維持管理事務		
事業期間	平成1年度～			
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健幸事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	安城市児童厚生施設及び管理に関する条例			
備考				

【事業分析】

対象	子どもたちの健康が
目的	増進されます。
手段	身近な、安心して遊べる場を提供する。原則、町内会からの要望により遊具を設置し、日常管理（草取り・清掃等）は町内会が行います。遊具や植栽の維持管理は市で行います。
事務内容	遊具、植栽の委託業務契約、町内会の修繕や要望の聞き取り、町内会、地主への管理謝礼の支払など。

【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	32,174	38,588
事業費	0	30,599	37,013
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	0	30,599	37,013
人件費計	0	1,575	1,575
正規（人）	0.00	0.25	0.25
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		児童遊園等整備・更新 ・修繕(44箇所) 遊具点検(123箇所) 新設(1箇所)	児童遊園等整備・更新 ・修繕 遊具点検(124箇所)

事務事業評価シート (2/2)

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0001231010 子育て支援課庶務係
事務事業 02404 児童遊園等維持管理事務

上段：目標値 下段：実績値

【定量評価】

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
遊園に関する苦情	件	0.00 0.00	10.00 1.00	10.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	地元の要望により都市公園等を補完するものです。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	各地域において子どもたちの身近な遊び場となっています。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	適切な維持管理を行っています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	修繕及び委託業務を都市公園等の所管課と連携して行っています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	各地域において子どもたちの身近な遊び場となっています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	子どもたちが安全に遊ぶことができるよう地元町内会と連携を図りながら遊具の点検を実施するとともに、必要に応じて古い遊具の更新を行います。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

7頁
平成30年 8月20日
11時55分01秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0001231010 子育て支援課庶務係
事務事業 02405 児童手当支給事務

所属長名 長谷部 朋也
担当者 中川 裕太
電話番号 0566-71-2227

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	005	こども		
項目（施策）	001	17子育て		
施策の方針	001	17子育てその他		
事務事業	002	児童手当支給事務		
事業期間	平成1年度～			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	義務的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	児童手当法			
備考				

【事業分析】

対象	
目的	
手段	
事務内容	申請受付、認定、支払。現況届など各書類の発送。中学3年生までの児童に対して次のとおり支払います。3歳未満は一律15,000円/月、3歳以上小学校終了前の第1子、2子は10,000円/月、第3子以降は15,000円/月、中学生は一律10,000円/月。また児童の年齢にかかわらず、所得制限以上の受給者は5,000円/月。6月、10月、2月に前月分までをまとめて支払います。

【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	3,622,218	3,579,329
事業費	0	3,608,043	3,566,099
国庫支出金	0	2,513,832	2,488,700
県支出金	0	537,093	532,300
地方債	0	0	0
その他	0	0	1
一般財源	0	557,118	545,098
人件費計	0	14,175	13,230
正規（人）	0.00	2.25	2.10
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		受給対象児童数 29,009人	

事務事業評価シート (2/2)

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0001231010 子育て支援課庶務係
事務事業 02405 児童手当支給事務

上段：目標値 下段：実績値

【定量評価】

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	受給対象者の居住地において支給を行います。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	子育てをしている各家庭の生活の安定を促します。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由			
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	各届出の電子化等を進めています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	国の制度であり、画一的なものです。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	引き続き、転入や出生に伴う申請など、必要な手続きについて周知を行い、漏れのないよう努めます。また、マイナンバー導入に伴う情報連携や電子申請に伴い新たに生じる事務について、効率的なものとなるよう改善を図ります。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

9頁
平成30年 8月20日
11時55分01秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0001231010 子育て支援課庶務係
事務事業 02407 保育園施設改修事業

所属長名 長谷部 朋也
担当者 小野 達也
電話番号 0566-71-2227

【基本情報】

計画回数	02 第8次安城市総合計画			
5Kの分類	005 こども			
項目（施策）	001 17子育て			
施策の方針	003 幼稚園・保育園の充実			
事務事業	001 保育園施設改修事業			
事業期間	平成1年度～			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等				
備考				

【事業分析】

対象	保育に欠ける児童が
目的	安心、安全な環境で保育サービスを受けられます。
手段	安心、安全で快適な保育環境を確保するため、老朽化した保育園の改修や設備の更新、保育機能拡充のための施設整備を実施します。
事務内容	安城市公共建築物保全計画に連動した独自の中規模改修計画を作成し、計画的かつ適切な施設維持の実施。

【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	221,851	379,905
事業費	0	219,646	377,700
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	180,000
その他	0	0	60,000
一般財源	0	219,646	137,700
人件費計	0	2,205	2,205
正規（人）	0.00	0.35	0.35
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		東部保育園改修工事 桜井保育園改修工事 空調更新工事(2園) 遊具等更新工事 三ツ川保育園正門更新工事	新田保育園改修工事 みその保育園改修工事 空調更新工事(3園)

事務事業評価シート（2/2）

10 頁
平成30年 8月20日
11時55分01秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0001231010 子育て支援課庶務係
事務事業 02407 保育園施設改修事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
維持修繕工事	件	0.00	6.00	5.00
		0.00	6.00	0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	公立保育園の改修を行う事業です。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	保育需要は拡大しています。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	計画に従い、施設の改修を行っています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	効率的な改修が行えるよう管理をしています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	必要な保育が行える環境を適切に維持しています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	基本整備計画に従い、計画的に事業を進めています。様々なニーズへの対応を含め、安全で快適な環境を確保するため、コストを意識しつつ計画的な改修を実施します。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

11頁
平成30年 8月20日
11時55分01秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0001231010 子育て支援課庶務係
事務事業 02414 保育園整備事業

所属長名 長谷部 朋也
担当者 小野 達也
電話番号 0566-71-2227

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	005	こども		
項目（施策）	001	17子育て		
施策の方針	003	幼稚園・保育園の充実		
事務事業	002	保育園整備事業		
事業期間	平成1年度～			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等				
備考				

【事業分析】

対象	保育に欠ける児童が
目的	安心、安全な環境で保育サービスを受けられます。
手段	安全で快適な保育環境をつくるため、老朽化した保育園を整備します。
事務内容	安城市公共建築物保全計画に連動した計画的かつ適切な施設整備の実施。

【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	51,348	690,122
事業費	0	49,143	687,917
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	34,500	246,000
その他	0	0	0
一般財源	0	14,643	441,917
人件費計	0	2,205	2,205
正規（人）	0.00	0.35	0.35
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		みのわ保育園旧園舎解体工事 旧みのわ保育園駐車場整備工事 和泉保育園仮設園庭ほか整備工事 和泉保育園建設工事着手	和泉保育園建設工事

事務事業評価シート (2/2)

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0001231010 子育て支援課庶務係
事務事業 02414 保育園整備事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
整備工事実施数	件	0.00 0.00	4.00 4.00	2.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	老朽化した公立保育園の改築等を行うものです。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	保育需要は拡大しています。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	計画に従い、施設の改築等を実施しています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	効率的な改修ができるようスケジュール管理を行っています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	必要な保育を実施するための施設環境を確保しています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	様々なニーズへの対応を含め、安全で快適な環境を確保するため、老朽化等により改築が必要となる施設について、他の施設との統合も勘案しつつ計画的に実施します。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

13頁
平成30年 8月20日
11時55分01秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0001231010 子育て支援課庶務係
事務事業 02415 幼稚園施設改修事業

所属長名 長谷部 朋也
担当者 小野 達也
電話番号 0566-71-2227

【基本情報】

計画回数	02 第8次安城市総合計画			
5Kの分類	005 こども			
項目（施策）	001 17子育て			
施策の方針	003 幼稚園・保育園の充実			
事務事業	003 幼稚園施設改修事業			
事業期間	平成1年度～			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等				
備考				

【事業分析】

対象	園児が
目的	安心、安全な環境で教育を受けられます。
手段	安心、安全で快適な教育環境を確保するため、老朽化した幼稚園の改修や設備の更新、教育機能拡充のための施設整備を実施します。
事務内容	安城市公共建築物保全計画に連動した独自の中規模改修計画を作成し、計画的かつ適切な施設維持の実施。

【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	2,607	18,215
事業費	0	1,977	17,900
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	0	1,977	17,900
人件費計	0	630	315
正規（人）	0.00	0.10	0.05
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		維持修繕工事（1園）	空調更新工事（1園）

事務事業評価シート（2/2）

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0001231010 子育て支援課庶務係
事務事業 02415 幼稚園施設改修事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
維持修繕工事	件	0.00 0.00	1.00 1.00	1.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	公立幼稚園の改修を行う事業です。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	幼児教育環境の確保は子育て世代の市民サービスに直結しています		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	計画に従い、施設の改修を行っています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	効率的な改修が行えるよう管理をしています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	必要な幼児教育を実施するための施設環境を適切に維持しています		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	基本整備計画に従い、計画的に事業を進めています。様々なニーズへの対応を含め、安全で快適な環境を確保するため、コストを意識しつつ計画的な改修を実施します。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

15頁
平成30年 8月20日
11時55分01秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0001231010 子育て支援課庶務係
事務事業 02436 保育園事業

所属長名 長谷部 朋也
担当者 峯下 千明
電話番号 0566-71-2227

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	005	こども		
項目（施策）	001	17子育て		
施策の方針	003	幼稚園・保育園の充実		
事務事業	004	保育園事業		
事業期間	昭和23年度～			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等				
備考				

【事業分析】

対象	仕事や病気のため、昼間に児童を保育することができない保護者が
目的	保育を任せることができます。
手段	仕事や社会活動と子育て支援が両立できるよう、公立23園の運営管理を行い、保育サービスの内容を充実します。
事務内容	各園の施設状況を調査し、必要に応じて施設修繕を実施しています。

【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	54,923	62,350
事業費	0	51,773	59,200
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	0	51,773	59,200
人件費計	0	3,150	3,150
正規（人）	0.00	0.50	0.50
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		適切な役務、賃借及び修繕の実施	適切な役務、賃借及び修繕の実施

事務事業評価シート (2/2)

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0001231010 子育て支援課庶務係
事務事業 02436 保育園事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
修繕実施	件	0.00	230.00	230.00
		0.00	277.00	0.00
設備点検等業務委託	件	0.00	18.00	18.00
		0.00	19.00	0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	公立保育施設の維持管理を行う事業です。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	保育需要は拡大しています。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	定期的な施設の点検、及び必要な修繕等を実施しています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	効率的な保全が行えるようスケジュール管理を行っています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	必要な保育を実施するための施設環境を適切に維持しています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	児童の健全な育成のため、安全で健康的な園生活を送ることができるよう今後も施設の維持管理に努めます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

17頁
平成30年 8月20日
11時55分02秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0001231010 子育て支援課庶務係
事務事業 02437 幼稚園施設管理事業

所属長名 長谷部 朋也
担当者 峯下 千明
電話番号 0566-71-2227

【基本情報】

計画回数	02 第8次安城市総合計画			
5Kの分類	005 こども			
項目（施策）	001 17子育て			
施策の方針	003 幼稚園・保育園の充実			
事務事業	005 幼稚園施設管理事業			
事業期間	平成29年度～			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等				
備考				

【事業分析】

対象	園児が
目的	安心して幼稚園生活を送ることができる。
手段	公立幼稚園4園の運営管理を行い、教育環境を充実させます。
事務内容	各園の施設状況を点検、調査し、必要に応じて施設修繕を実施しています。

【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	7,371	10,429
事業費	0	6,111	9,169
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	0	6,111	9,169
人件費計	0	1,260	1,260
正規（人）	0.00	0.20	0.20
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		適切な役務、賃借及び修繕の実施	適切な役務、賃借及び修繕の実施

事務事業評価シート (2/2)

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0001231010 子育て支援課庶務係
事務事業 02437 幼稚園施設管理事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
修繕実施	件	0.00	40.00	40.00
		0.00	58.00	0.00
設備点検等業務委託	件	0.00	7.00	7.00
		0.00	9.00	0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	公立幼稚園施設の維持管理を行う事業です。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	幼児教育環境の確保は子育て世代の市民サービスに直結しています		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	定期的な施設の点検、及び修繕等を行っています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	効率的な保全が実施できるようスケジュール管理を行っています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	必要な幼児教育を実施するための施設環境を適切に維持しています		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	児童の健全な育成のため、安全で健康的な園生活を送ることができるよう今後も施設の維持管理に努めます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

1頁
平成30年 8月20日
11時55分11秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0001231020 子育て支援課子育て支援係
事務事業 02440 ファミリー・サポート・センター事業

所属長名 長谷部 朋也
担当者 石丸 寿子
電話番号 0566-72-2315

【基本情報】

計画回数	02 第8次安城市総合計画			
5Kの分類	005 こども			
項目（施策）	001 17子育て			
施策の方針	001 17子育てその他			
事務事業	003 ファミリー・サポート・センター事業			
事業期間	平成14年度～			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	児童福祉法第21条の9、ファミリー・サポート・センター事業実施要綱			
備考				

【事業分析】

対象	子育ての手伝いをしてほしい人が
目的	安心して活動を依頼することができるようになります。
手段	ファミリー・サポート・センターとは「子育ての手助けをしてほしい人（依頼会員）」と「子育ての協力をしていただける人（提供会員）」が会員となってお互いに助け合う会員組織です。対象児童は0歳から小学校6年生までです。
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・広報活動 ・会員の相互援助活動の調整等 ・入会説明会 ・講習会、研修会、交流会

【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	11,013	11,237
事業費	0	4,713	4,937
国庫支出金	0	1,466	1,173
県支出金	0	1,466	1,173
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	0	1,781	2,591
人件費計	0	6,300	6,300
正規（人）	0.00	1.00	1.00
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		<ul style="list-style-type: none"> ・あんじょう広報(4回) ・ファミサポだより(4回) ・会員の相互援助活動の調整等 ・入会説明会(24回)、講習会(4回)、研修会(2回)、交流会(2回) 	<ul style="list-style-type: none"> ・あんじょう広報(4回) ・ファミサポだより(4回) ・会員の相互援助活動の調整等 ・入会説明会(24回)、講習会(4回)、研修会(2回)、交流会(2回)

事務事業評価シート (2/2)

2頁
平成30年 8月20日
11時55分11秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0001231020 子育て支援課子育て支援係
事務事業 02440 ファミリー・サポート・センター事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
会員数	人	0.00	700.00	700.00
		0.00	727.00	0.00
活動件数	回	0.00	3,000.00	3,000.00
		0.00	3,785.00	0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	収益のある事業でないことから民間で実施することは難しいです		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	手助けを必要としている子育て中の保護者が増えています		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標おりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	会員人数、活動件数共に多く、順調に推移しています		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	人件費、講習会等の実施経費であるため、今以上の削減は困難です		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他市の状況等勘案して、妥当と考えます。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	核家族化が進み、手助けを必要としている子育て中の保護者が増えており、今後も必要とされる事業です。活動件数を増やすためには、提供会員を増やす必要が有ります。そのため提供会員確保に向けた広報をすすめます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

3頁
平成30年 8月20日
11時55分11秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0001231020 子育て支援課子育て支援係
事務事業 02441 つどいの広場事業

所属長名 長谷部 朋也
担当者 細井 明子
電話番号 0566-72-2317

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	005	こども		
項目（施策）	001	17子育て		
施策の方針	002	安心して生み育てられる環境の整備		
事務事業	004	つどいの広場事業		
事業期間	平成17年度～			
実施方法	全部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健幸事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等				結婚・出産・子育て
備考				

【事業分析】

対象	子育て中の親子が
目的	気軽に交流できる場所として利用できます。
手段	乳幼児を持つ子育て中の親子が気軽に集い、子育てについて打ち解けた雰囲気の中で語り合い、親子で遊びながら交流することで、精神的な安定をもたらし、安心して子育てができる環境を提供します。
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> 子育て親子の交流の場の提供と交流の促進 子育て等に関する相談、援助の実施 地域の子育て関連情報の提供 子育て及び子育て支援に関する講習等の実施

【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	18,912	20,267
事業費	0	18,282	19,637
国庫支出金	0	5,901	4,492
県支出金	0	5,901	4,492
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	0	6,480	10,653
人件費計	0	630	630
正規（人）	0.00	0.10	0.10
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		<ul style="list-style-type: none"> ほっとスペース イベント 年3回 北部ほっとスペース 講座 年12回、イベント 年2回 ほのぼの広場 子育て相談援助 年15回、子育て講座 年23回、子育て支援講習 年43回 	<ul style="list-style-type: none"> ほっとスペース 行事 年3回 北部ほっとスペース 行事 年14回 アンフォーレほっとスペース 行事 年12回 ほのぼの広場 子育て相談援助 年15回など

事務事業評価シート (2/2)

4 頁
平成30年 8月20日
11時55分11秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0001231020 子育て支援課子育て支援係
事務事業 02441 つどいの広場事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
利用人数	人	0.00	35,000.00	50,000.00
		0.00	56,028.00	0.00
つどいの広場設置数	か所	0.00	4.00	4.00
		0.00	4.00	0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	3
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	既に民間委託実施済みです		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	子育てに不安や悩みを持つ保護者が増えています		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	相互交流や子育ての不安・悩みを相談できる場となっています		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	利用数も多く、委託料は必要最低限の積算でこれ以上の削減は困難		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他市でも同様の事業を実施しており、市民ニーズもあります		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	乳幼児を持つ子育て中の親子が気軽に集い、交流することができる場を提供する事は、子育てに不安や悩みを持つ保護者にとって必要であるため、今後も継続して実施します。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

5頁
平成30年 8月20日
11時55分11秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0001231020 子育て支援課子育て支援係
事務事業 02443 地域子育て支援センター事業

所属長名 長谷部 朋也
担当者 渥美 洋子
電話番号 0566-72-2317

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	005	こども		
項目（施策）	001	17子育て		
施策の方針	001	17子育てその他		
事務事業	004	地域子育て支援センター事業		
事業期間	平成9年度～			
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健幸事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	安城市地域子育て支援拠点事業実施要綱			
備考				

【事業分析】

対象	子育て家庭が
目的	安心して子育てができるようになります。
手段	育児に不安を抱える家庭への電話相談などの相談指導や、育児講座などの育児支援、子育てサークルの育成・支援、子育て情報誌「ささえねっと」の発行などを行ないます。
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て親子の交流の場の提供と交流の促進 ・子育て等に関する相談、援助の実施 ・地域の子育て関連情報の提供 ・子育て及び子育て支援に関する講習等の実施（月1回以上）

【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	31,942	37,279
事業費	0	19,342	25,309
国庫支出金	0	5,939	5,821
県支出金	0	5,939	5,821
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	0	7,464	13,667
人件費計	0	12,600	11,970
正規（人）	0.00	2.00	1.90
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		遊び広場子育てほっとタイム 年12回 育メン広場 年12回 赤ちゃん広場 年11回 双子広場 年6回 育児講習会 年12回 パパ講座 年3回 子育て何でも相談 年6回	遊び広場子育てほっとタイム 年10回 育メン広場 年11回 赤ちゃん広場 年11回 双子広場 年6回 育児講習会 年12回 パパ講座 年3回 子育て何でも相談 年6回

事務事業評価シート (2/2)

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0001231020 子育て支援課子育て支援係
事務事業 02443 地域子育て支援センター事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
利用延べ人数	人	35,000.00	35,000.00	35,000.00
		48,149.00	47,072.00	0.00
子育て支援センター設置数	か所	5.00	5.00	5.00
		5.00	5.00	0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	収益のある事業ではないので民間での実施は困難		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	乳幼児を持つ親子が、親子遊び・子育て相談できる場となっている		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標おりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	核家族化の進展や地域社会の変化により利用増が見込まれます		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	3
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	人件費、講習会の実施経費であるため削減は困難		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他市でも同様の事業を実施しており、市民ニーズもあります		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	子育て情報の提供や子育て支援に関する講習会を行い、子育て支援充実を図り、子育ての不安感等を緩和し、子どもの健やかな育ちを促進する事は、子育てに不安や悩みを持つ保護者にとって必要であるため、今後も継続して実施します。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

7頁
平成30年 8月20日
11時55分11秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0001231020 子育て支援課子育て支援係
事務事業 02445 児童クラブ事業

所属長名 長谷部 朋也
担当者 築山 佳子
電話番号 0566-72-2319

【基本情報】

計画回数	02 第8次安城市総合計画			
5Kの分類	005 こども			
項目（施策）	001 17子育て			
施策の方針	004 児童クラブ学年拡大			
事務事業	001 児童クラブ事業			
事業期間	平成4年度～			
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト	○	地方創生 結婚・出産・子育て
根拠法令等	児童福祉法、安城市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例、安城市児童クラブ規則			
備考				

【事業分析】

対象	仕事をしている子どもの親が
目的	（小学校区内の）児童クラブに子どもを預けることができます。
手段	昼間保護者のいない家庭の児童を対象に、適切な遊び及び生活の場としての児童クラブを設置し、児童の健全育成の向上を図ります。
事務内容	公立47か所、民間4か所で児童クラブを実施しています。 開所時間は、放課後が午後7時まで、長期休業期間中が午前7時30分から午後7時までです。 開所日は、月曜日から土曜日までです。

【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	359,176	439,981
事業費	0	315,706	400,291
国庫支出金	0	65,249	55,149
県支出金	0	61,282	55,149
地方債	0	0	0
その他	0	129,360	132,472
一般財源	0	59,815	157,521
人件費計	0	43,470	39,690
正規（人）	0.00	6.90	6.30
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		<ul style="list-style-type: none"> ・来年度入会受付 10月から ・長期休業期間受付 2月 ・入会説明会 3月 ・夏休み期間受付 6月 ・随時入会受付 前月20日まで 	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度入会受付 10月から ・長期休業期間受付 2月 ・入会説明会 3月 ・夏休み期間受付 6月 ・随時入会受付 前月20日まで

事務事業評価シート (2/2)

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0001231020 子育て支援課子育て支援係
事務事業 02445 児童クラブ事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
児童クラブ登録児童数	人	0.00	1,800.00	1,900.00
		0.00	1,992.00	0.00
児童クラブ設置数	か所	0.00	51.00	51.00
		0.00	51.00	0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	一部は民間で実施、学校敷地内での民間委託は難しい		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	入会希望児童が増加しています		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	今後も入会希望児童の受け入れが出来るよう努めます		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	保護者のニーズが多様化しているため効率化・簡素化は困難です		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他市でも同様の事業を実施しており、入会希望児童も増加している		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	核家族化の進展や共働き世帯の増加により、昼間保護者のいない家庭の児童は増加傾向にあり、今後もニーズは高まると推察されるため、継続して実施します。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0001231020 子育て支援課子育て支援係
事務事業 02446 児童センター事業

所属長名 長谷部 朋也
担当者 細井 明子
電話番号 0566-72-2317

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	005	こども		
項目（施策）	001	17子育て		
施策の方針	001	17子育てその他		
事務事業	005	児童センター事業		
事業期間	昭和58年度～			
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健幸事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	児童福祉法、安城市児童厚生施設の設置及び管理に関する条例			
備考				

【事業分析】

対象	地域の子どもの居場所としての児童センターが整備され利用者が
目的	安全に気持ちよく利用できるようになります。
手段	児童の健全な遊び場の確保、健康増進、情操を高める
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・来館者とのかわり（子育ての相談等） ・定期講座の開催（囲碁・将棋教室、卓球教室） ・親子参加行事の開催（乳幼児の親子対象） ・小中学生対象の行事の開催

【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	70,916	80,874
事業費	0	64,616	73,314
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	0	64,616	73,314
人件費計	0	6,300	7,560
正規（人）	0.00	1.00	1.20
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		<ul style="list-style-type: none"> ・おはなし会 月1回 ・乳幼児親子遊び 月1回 ・0歳児親子サロン 月1回 ・乳幼児講座 月25～30回 ・赤ちゃん触れ合い体験 年2～3回 	<ul style="list-style-type: none"> ・おはなし会 月1回 ・乳幼児親子遊び 月1回 ・0歳児親子サロン 月1回 ・乳幼児講座 月25～30回 ・赤ちゃん触れ合い体験 年2～3回

事務事業評価シート (2/2)

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0001231020 子育て支援課子育て支援係
事務事業 02446 児童センター事業

上段：目標値 下段：実績値

【定量評価】

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
児童センター利用者数	人	0.00	405,000.00	405,000.00
		0.00	427,139.00	0.00
児童センター設置数	か所	0.00	9.00	9.00
		0.00	9.00	0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	2
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	公民館内で実施しているので外部委託等は難しい		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	核家族化の進展や地域社会の変化により利用者増が予想される		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	地域の子どもの居場所として十分機能をはたしています		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	人件費の他、講習会等の実施経費であるため削減は困難です		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他市でも同様の事業を実施しており、市民ニーズもあります		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	地域の子どもたちが安心できる居場所となり、健全な遊びを通して子どもの成長と能力の発達手助けをする場として、今後も必要とされる事業です。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0001231020 子育て支援課 子育て支援係
事務事業 02450 子育て支援総合拠点施設管理事業

所属長名 長谷部 朋也
担当者 宮崎 美絵
電話番号 0566-72-2319

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	005	こども		
項目（施策）	001	17子育て		
施策の方針	001	17子育てその他		
事務事業	006	子育て支援総合拠点施設管理事業		
事業期間	平成23年度～			
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	経常的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等				
備考				

【事業分析】

対象	子育て中の市民が
目的	快適に施設利用ができるようになります。
手段	子育てに関する関係機関とのネットワーク化を図り、市内各地域で行われている支援事業を統括するとともに、支援や指導、情報の提供を行っていきます。
事務内容	子育て支援センター・ファミリーサポートセンター・ほっとスペース・図書の貸出と総合した支援施設の管理をします。

【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	10,702	8,999
事業費	0	4,402	5,849
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	0	4,402	5,849
人件費計	0	6,300	3,150
正規（人）	0.00	1.00	0.50
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		適切な役務、賃借及び修繕の実施	適切な役務、賃借及び修繕の実施

事務事業評価シート（2/2）

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0001231020 子育て支援課子育て支援係
事務事業 02450 子育て支援総合拠点施設管理事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
苦情件数	件	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	3
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	施設保守等は既に委託により実施済みです		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	施設としての環境整備は子育て世代の市民サービス向上につながる		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	施設の維持管理に必要な役務及び修繕を適切に実施しています		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	事業内容を削減しない限り、事業費の削減は見込めません		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	あんぱ〜くの運営に必要です		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	施設の維持管理と長寿命化のために定期的な点検や修繕は必要であり、今後も継続して実施します。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

1頁
平成30年 8月20日
12時05分36秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0001231030 子育て支援課児童家庭係
事務事業 02461 家庭児童相談事業

所属長名 長谷部朋也
担当者 金子 聖
電話番号 0566-71-2229

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	005	こども		
項目（施策）	001	17子育て		
施策の方針	005	ひとり親家庭の自立支援		
事務事業	001	家庭児童相談事業		
事業期間	平成16年度～			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健幸事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	児童福祉法第10条、25条、児童虐待防止法、安城市虐待防止地域協議会設置要綱			
備考				

【事業分析】

対象	児童養育上の諸問題のある家庭が
目的	子どもの様々な問題を相談できます
手段	・児童家庭相談 子どものさまざまな問題の相談に応じ、保護者や関係機関とともに問題解決を図ります。 ・虐待等防止地域協議会（児童部会）を中心に児童相談センター、保健所、警察、民生委員・児童委員等と連携して子どもの人権を守る体制を支援します。（虐待等防止地域協議会、実務者会議、個別ケース検討会議）
事務内容	・相談や通報が入った場合に迅速な対応を行います。 ・関係機関との情報共有や問題解決のための会議の開催をします。 ・児童虐待防止等の啓発運動を行います。

【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	30,358	30,785
事業費	0	7,678	8,105
国庫支出金	0	160	170
県支出金	0	160	170
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	0	7,358	7,765
人件費計	0	22,680	22,680
正規（人）	0.00	3.60	3.60
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		<ul style="list-style-type: none"> ・虐待（135件） ・養護相談（138件） ・DV相談（20件） ・その他（71件） 	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待 ・養護相談 ・DV相談 ・その他

事務事業評価シート (2/2)

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0001231030 子育て支援課児童家庭係
事務事業 02461 家庭児童相談事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
要保護児童相談件数	件	0.00 0.00	340.00 364.00	360.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	関係機関との連携を図り、迅速な対応をします。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	児童家庭相談や子どもの様々な問題の相談に応じます。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	相談件数が増加してもより迅速な対応ができるように行います。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	3
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	関係機関との連携が必要であるため、効率化は難しい。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	今後とも重要な業務となり、継続的に実施していきます。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	今後も各種研修や啓発活動を行うことで多様化する問題に対応できるよう、民生委員、主任児童委員や関係機関職員のレベルアップを図り、児童虐待等への強化をしていきます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

3頁
平成30年 8月20日
12時05分36秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0001231030 子育て支援課児童家庭係
事務事業 02470 ひとり親家庭支援事業

所属長名 長谷部朋也
担当者 伴優子
電話番号 0566-71-2229

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	005	こども		
項目（施策）	001	17子育て		
施策の方針	005	ひとり親家庭の自立支援		
事務事業	002	ひとり親家庭支援事業		
事業期間	平成1年度～			
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	義務的／政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	母子及び父子並びに寡婦福祉法、安城市母子家庭等日常生活支援事業実施要綱			
備考	平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から以下の事業を統合しています。 ・ひとり親家庭交流支援事業 ・母子家庭等自立支援対策事業 ・母子等福祉資金支援事業 ・ひとり親家庭生活支援事業			

【事業分析】

対象	ひとり親家庭の母又は父又は寡婦（父）の
目的	就業生活及び家庭生活の安定と向上が図られます。
手段	ひとり親家庭への就労支援や技術取得に向けた給付金支給事務を行うとともに、家庭生活支援員の派遣や家庭相談員による家庭内の諸問題に対する指導・助言等を行います。
事務内容	<給付金・生活支援> ・事前の面談、申請受付、書類審査、支援員派遣調整、事前訪問、給付金委託料支払事務ほか

【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	11,162	12,376
事業費	0	4,421	5,635
国庫支出金	0	2,697	3,285
県支出金	0	152	216
地方債	0	0	0
その他	0	1	1
一般財源	0	1,571	2,133
人件費計	0	6,741	6,741
正規（人）	0.00	1.07	1.07
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		各種給付金支給者 6人（のべ） 生活支援員派遣日数 15日（のべ）	各種給付金支給 生活支援員派遣

事務事業評価シート (2/2)

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0001231030 子育て支援課児童家庭係
事務事業 02470 ひとり親家庭支援事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
給付金支給人数	人	0.00	5.00	6.00
		0.00	6.00	0.00
支援員派遣日数	日	0.00	10.00	15.00
		0.00	15.00	0.00

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	法令等に基づき、市が実施することとされています。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	一時的に日常生活を営むのに支障がある場合に子育て支援をします		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標おりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	事務が円滑に行われ、事業の周知も十分に行えています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	3
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	利用料の削減や別の実施団体を探すのが困難です。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	ひとり親家庭の交流できる場として重要な役割を担っています。		

【1次評価結果】	
事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	ひとり親家庭等の生活安定のため、事業のPRを行います。また、制度利用に至る前に生活が維持できるように指導や助言できるように努めます。

【2次評価結果】	
事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0001231030 子育て支援課児童家庭係
事務事業 02477 児童扶養手当・遺児手当支給事務

所属長名 長谷部朋也
担当者 幸田日奈
電話番号 0566-71-2229

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	005	こども			
項目（施策）	001	17子育て			
施策の方針	005	ひとり親家庭の自立支援			
事務事業	003	児童扶養手当・遺児手当支給事務			
事業期間	昭和36年度～				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	義務的／政策的	性質別費目	
健全事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	児童扶養手当法、安城市遺児手当支給条例・愛知県遺児手当支給規則				
備考	平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から以下の事業を統合しています。 ・児童扶養手当支給事務 ・遺児手当事務				

【事業分析】

対象	父又は母と生計を同じくしていない児童を養育している人
目的	手当を支給することにより、児童の福祉増進を図ります。
手段	【児童扶養手当】 父または母あるいは両親のいない18歳以下（18歳に達した日の属する年度の末日まで）及び20歳未満で中度以上の障害（身障手帳1、2、3級、療育手帳A程度）の児童を養育している人に支給します。【遺児手当】 18歳以下（18歳に達した日の属する年度の末日まで）で父又は母のいない児童を養育している人に支給します。
事務内容	【児童扶養手当】 申請受付・審査認定及び支給事務を行います（4月・8月・12月の年3回支給）。 【遺児手当】 申請受付・審査認定及び支給事務を行います（4月・8月・12月の年3回支給）。 月額1人2,500円 また、愛知県遺児手当の受付・県への書類送付、認定通知書等の発送事務を行います。

【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	576,108	589,729
事業費	0	556,704	570,325
国庫支出金	0	163,793	166,600
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	1
一般財源	0	392,911	403,724
人件費計	0	19,404	19,404
正規（人）	0.00	3.08	3.08
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		児童扶養手当受給者数 1,294人 遺児手当支給対象児童数 2,377人	児童扶養手当 遺児手当

事務事業評価シート (2/2)

6 頁
平成30年 8月20日
12時05分36秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0001231030 子育て支援課児童家庭係
事務事業 02477 児童扶養手当・遺児手当支給事務

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
児童扶養手当受給者数	人	0.00	1,300.00	1,300.00
		0.00	1,294.00	0.00
遺児手当対象児童数	人	0.00	2,450.00	2,450.00
		0.00	2,377.00	0.00

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	法令等に基づき、市が実施することとされています。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	ひとり親家庭への支援を行います。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	審査をし、適正に支給しています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	国、県の支給事務もありますので簡素化は難しい。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	支給審査基準に照らせ合わせ審査して支給しています。		

【1次評価結果】	
事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	今後も審査を適正に行い、支給ができるように進めていきます。

【2次評価結果】	
事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

7頁
平成30年 8月20日
12時05分36秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0001231030 子育て支援課児童家庭係
事務事業 02478 母子生活支援施設入所事業

所属長名 長谷部朋也
担当者 廣村由紀恵
電話番号 0566-71-2229

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	005	こども		
項目（施策）	001	17子育て		
施策の方針	005	ひとり親家庭の自立支援		
事務事業	004	母子生活支援施設入所事業		
事業期間	平成1年度～			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	児童福祉法第23条、安城市児童福祉法施行細則、安城市母子・女性緊急避難保護事業要綱			
備考				

【事業分析】

対象	DVを受けた母子あるいは生活困窮により児童福祉に欠ける母子が
目的	保護され、自立支援施設で生活の基盤を作り、母子で自立した生活ができるように支援します。
手段	女性相談を通じてDV、経済困窮等により母子生活支援施設への入所が必要と思われる母子世帯に施設への入所手続きを行い、一時的に施設での生活をする事により、社会への自立を支援します。 また、経済的な理由により入院助産を受けることができない妊婦に対して、助産施設へ入所して助産を受けるための支援をします。
事務内容	相談・申請等受付、承認通知、施設への連絡調整、支払事務、負担金の徴収

【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	4,814	14,521
事業費	0	404	10,111
国庫支出金	0	200	5,000
県支出金	0	100	2,500
地方債	0	0	0
その他	0	0	1
一般財源	0	104	2,610
人件費計	0	4,410	4,410
正規（人）	0.00	0.70	0.70
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		施設入所世帯数 0世帯	

事務事業評価シート (2/2)

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0001231030 子育て支援課児童家庭係
事務事業 02478 母子生活支援施設入所事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
一時保護後に母子生活支援施設に入所した母子の割合	%	0.00 0.00	40.00 0.00	40.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	法令等に基づき、市が実施することとされています。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	2
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	相談から入所へつなげるまで時間を要することがあります。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	2
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	緊急時の対応のため目標・評価には向かないです		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	3
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	見直しが困難な事業です。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	緊急時に対応ができるようにしております。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	緊急性があり、すぐに対応が必要な内容であり、入所者についての自立支援も考慮して継続的に支援が必要です。しかしながら入所手続きに時間がかかることが多いため、入所者は少ないが迅速な対応ができるよう努めます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0001231030 子育て支援課児童家庭係
事務事業 02479 子ども養育支援事業

所属長名 長谷部朋也
担当者 廣村由紀恵
電話番号 0566-71-2229

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	005	こども			
項目（施策）	001	17子育て			
施策の方針	005	ひとり親家庭の自立支援			
事務事業	005	子ども養育支援事業			
事業期間	平成17年度～				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	義務的／政策的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	児童福祉法第6条、第6条の3、第21条の2				
備考	平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から以下の事業を統合しています。 ・子育て短期支援事業 ・養育支援訪問事業				

【事業分析】

対象	家庭での養育が一時的に困難な場合や、出産後の育児を補助してくれる人がいない家庭が
目的	児の養育に悩んだり育児がうまくいかない場合など、支援員の派遣などにより身近に相談ができたり家事の援助を受けることで改善していくことができるようになります。
手段	ヘルパーや保健師、元保育士の派遣をします。また、一時的に養育が困難な場合は、委託先施設へ入所することもできます。
事務内容	委託施設や事業者との契約事務、利用者と派遣者との調整や顔合わせなど、料金の收受事務、利用支払事務

【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	5,941	7,811
事業費	0	2,476	4,346
国庫支出金	0	225	428
県支出金	0	225	428
地方債	0	0	0
その他	0	1	1
一般財源	0	2,025	3,489
人件費計	0	3,465	3,465
正規（人）	0.00	0.55	0.55
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		養育支援利用家庭数 35世帯 養育支援派遣家庭数 25世帯 施設入所日数合計 0日	

事務事業評価シート (2/2)

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0001231030 子育て支援課児童家庭係
事務事業 02479 子ども養育支援事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
養育支援訪問事業利用 家庭数	世帯	0.00	35.00	100.00
		0.00	101.00	0.00
養育支援訪問事業派遣 家庭数	世帯	0.00	25.00	59.00
		0.00	59.00	0.00
施設利用日数合計	日	0.00	10.00	0.00
		0.00	0.00	0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補 完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	法令等に基づき、市が実施することとされています。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	養育支援訪問事業についてはニーズは充分にあります。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	年々利用者が増えております。		
4	効率性 事業の効率化・事業費 の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	支援の必要な家庭のニーズ、委託先の意見を聞きながら進めます。		
5	公平性 事業規模・サービス水 準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	養育支援が必要な家庭への実施については適正に実施しています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	核家族の世帯や共働きの世帯あるいは経済的に困窮しているような世帯などへの支援は今後、ますます重要な施策であり、生まれてくる子どもたちが健やかに育つようにサポートしていきます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。